

政策提言書

基盤整備委員会

政策提言（概要）	
政策課題 公共物（道路、水路、橋梁、水道管など）の効果的な運用について	<ul style="list-style-type: none">・公共施設の計画的な維持・更新を管理するため、全庁的な担当部署を設けること。・アセットマネジメントによる実行計画を早期に作成し、財政規模に見合った公共施設を保有すること。

項目	内容
背景	<ul style="list-style-type: none">・公共施設の多くは、昭和40年代から50年代に整備されているが、老朽化が進み、今後修繕等の費用が一斉にかかり財政を圧迫する可能性が高い。・長引く景気低迷による税収の減、少子高齢化による扶助費の増などにより財政は厳しい状況が見込まれることから新規の公共施設の建て替え等は難しい。・公共施設の経年劣化による施設の機能の低下は、市民の生命を脅かすこととなる。・道路台帳、橋梁台帳は始点、終点、延長、幅員、面積、道路認定日などの現況は整備されているものの、修繕歴などは明記されていない。また橋梁については、951橋の内47の橋梁には橋りょう長寿命化修繕計画があるがその他の橋梁について計画はない。・下水道管、水道管においては、口径、管種、延長、布設年、修繕歴など現況は紙ベースで整備されている。・水路は、農業水路、雨水排水水路等があり、所管区分は明確にしてあるが、詳細な図面等は整備されていない。
目的	「既にあるものを活かす。」というアセットマネジメントの手法により施設の維持管理を最小限に抑え、良質な市民サービスを持続的に提供するため。
基本的方向	<ul style="list-style-type: none">・公共施設が果たす役割を見直し、市の財政規模に見合った適正量の公共施設を保有するとともに、全庁的な維持管理の仕組みを構築する必要がある。・中長期的な視点で維持・更新経費を見据えながら効果的に運用する長寿命化・アセットマネジメントの手法は、財政運営の観点からも重要である。・アセットマネジメントの考え方をを用いて、基本方針及び各段階の具体的な手順等を提示し施設保有の最適化を図る。・公共施設の管理上望ましい部に担当課を設け、統合型GISを全庁的情報政策の中に位置づけ、維持・更新経費を見据えながら費用対効果を分析し、資産保有量の最適化を図る。
財政の見通し等	低迷する経済、生産年齢人口の減少、平成26年度の合併特例期間終了に伴う交付税の減など財政の先行きは不透明である。また高度成長期に集中して建設した構造物が耐用年数を迎え始め、建築費用等が膨大にかかってくる事が予想される。今後計画的な行政運営を支えるためにも、公共施設が適正に管理できるシステムへの投資は大きな意味がある。
その他	